

# 好地まちづくりだより

発行／好地地区まちづくり委員会 事務局／石鳥谷国際交流センター内 TEL・FAX 45-6639

第75号

発行日  
令和4年  
3月15日

PHOTO

令和4年 新年交賀会(写真撮影のためにマスクを外しました)

## ごあいさつ

好地地区まちづくり委員会  
会長 藤 館 茂

平素より好地地区まちづくり委員会の諸事業に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和3年度は、「一步進んで二歩下がり、三歩進んで二歩下がる」の状況で、何がなぜ大切なのかを考え直す機会となりました。そして構成員の方々には、事業実施に向けてぎりぎりまで力を尽くしていただき、屋外での事業を中心に再開し、昨年11月と12月にはほぼ予定通り実施することが出来たものの、年明けから再び厳しい状況となっております。

令和4年度は、本会が設立され15周年、平成24年の好地地区まちづくりビジョン作成から10年という節目の年です。『あったらいいな好地未来マップ』や『石鳥谷にぎわいMAP』は見ているだけで楽しくなります。10年前の“夢”を振り返りながら、新たな夢（未来のまちの姿）を思い描いていただく準備の年に出来ればと思います。

膝をつき合わせて事業内容を検討することはまだ困難な状況ですが、好地地区の皆様の声に対し、真摯に耳（心）を傾け伺う所存です。

事業推進に向けてご忌憚のないご意見をお寄せください。



当部会では、「地域づくり推進」「地域内交流推進」「防災推進」「活動拠点整備」を柱に、各種事業に取り組んでおり

ますが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により事業運営に苦勞の多い1年となりました。

地域づくり推進では、地域内要望を取りまとめ、まちづくり委員会が対応するもの、県や市に対応を要望するものの振り分けを行い地域課題解決に努めてまいりました。

また、「好地まちづくりだより」を発行し、各部会が計画した事業の開催案内を中心に広報を行ったほか、自治公民館活動を支援するため活動費助成を行いました。

防災推進では、急速な感染症の拡大により防災訓練は残念ながら実施することができませんでしたが、自主防災研修は2度開催延期となっ

たものの、何とか11月に開催することができました。参加者を制限しての開催となりましたが、参加いただいた各自主防災組織の代表の方に、避難情報の見直しの内容や災害時の自主防災組織の活動などについて学んでいただくことができました。

コロナ禍の中、私たちの行動が大きく制限されておりますが、今後も皆様のご意見をお聞きしながら、より効果的な取り組みができるよう努めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

PHOTO

自主防災研修会



今年度も、新型コロナウイルス感染に振り回された1年でした。部会の会議が1か月遅れでスタート。高齢者福祉推進事業のいきいき健康づくり教室では、7月にグラウンドゴルフ教室を開催し、順次進めようと言

う矢先、デルタ株の急速な感染拡大を受け、8月のウォーキング、9月の軽スポーツの予定は中止。9月に入り感染が収まりを見せ制限が緩和されて、10月のグラウンドゴルフ、11月の干支粘土教室、12月の軽スポーツ（ボッチャ）教室は開催することが出来ました。

敬老事業支援の敬老祭も大人数での会食をしない、密を避ける等一堂に会することはかなわず、昨年のように対象の方全員にお祝い品とメッセージカードをお渡ししました。

子育て支援事業の子育て支援教室は、保育園も外部からの来園を制限していることから中止

としました。

福祉支援事業の除雪機貸出業務は、機械のメンテナンスを終え、各地区で活躍中です。

新たなオミクロン株の感染で今後が見通せない状態です。今までとは違うことに模索しながら取り組むことが出来ました。ご協力下さった方々に感謝申し上げます。また10年を経過した部会は事業内容の見直しが必要だと思われま

PHOTO

軽スポーツ教室(ボッチャ)



今年度は、当部会のメイン事業である「酒蔵まつり（春夏秋冬の4回）」を「形を変えて」ではありましたが、無事に開催する運びとなりました。他団体・他エリアでは事業の中止が目立つ中、開催時期等の巡り合せもあり、開催できた事は大変喜ばしい事でありました。これもひとえに、関係各位の日頃のご精進の賜物でございます。感謝申し上げます。

イベントにご来場いただいた方々の表情は非

常に明るく、楽しんで頂いている様子を拝見しておりますと、こちらも元気と勇気が湧いて参りました。特にハロウィンがテーマの「秋の陣」では、仮装した子供たちとご家族に、たくさんのご参加を賜りました。（来場者数二千人）開催して本当に良かったと思っております。

来年度は「誰気兼ねなく」「自由に」様々な行事を楽しめる日々が戻る事を、切に願っております。今後とも、当部会の活動に対するご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。



酒蔵まつり春の陣(さくらまつり)



酒蔵まつり秋の陣(収穫祭)

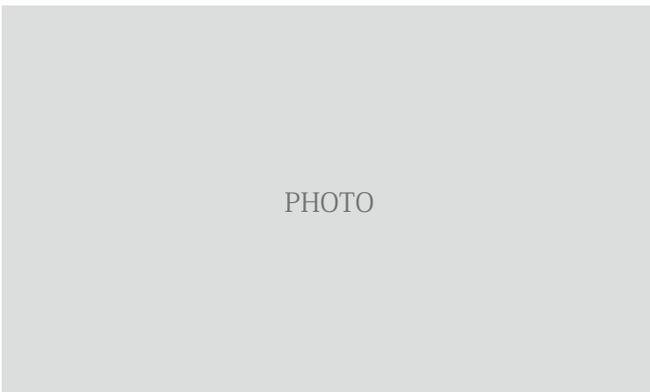


当部会では「環境を整え、心豊かに暮らせるまちづくり」を重点項目に事業に取り組んできました。

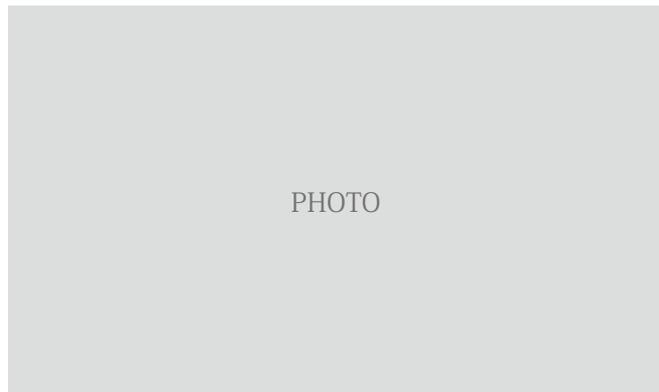
主なところでは、カーブミラーの新設（2箇所）、防犯灯の新設（1箇所）及び街路灯組合（6組合）に街路灯整備費補助を行っております。また交通安全、防犯の各推進事業では、花巻警察署員を講師に「高齢者交通安全教室」を11月10日（38名参加）、「特殊詐欺被害防止教

室」を11月18日（21名参加）に開催しました。また環境保全事業では、11月25日（23名参加）に市環境マイスターを講師に「廃プラスチックの回収と活用」と題した講義と、花巻市清掃センターにおける処理状況を視察、廃プラスチック処理の現状と課題を知ることが出来ました。

近年は環境整備に関する要望が減少傾向にあります。皆様の近辺で整備要望等がありましたら、区長や関係団体を通じてまちづくり委員会に出していただきますよう宜しくお願いします。



高齢者交通安全教室



環境保全研修(花巻市清掃センター)



地区民等の交流を主体としている当部会では、今年度の事業についても昨年から引き続けているコロナ禍の影響を受け、大変厳しい状況でありま

した。

子ども体験学習は、夏・冬とも中止を余儀なくされ、国際交流事業やスポーツ推進事業の一部も中止とさせていただきました。

このような情勢の中、地区民文化祭での作品の展示や八幡平七滝での登山教室、盛岡市を巡

る学習講座を地区民の皆様の協力を得ながら実施できましたこと感謝申し上げます。

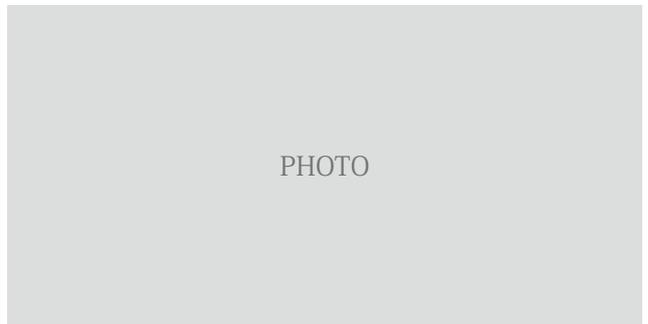
特に、ラットランド市との姉妹都市交流については、リモートによる交流を事業として初めて行い、1時間という時間制限の中、画面を通してラットランドの方々と触れ合えたことは、有意義な時間を持つことができたものと感じております。そして、新しい事業の手立てになればと思っております。

今後も新しい事柄や方法にチャレンジしながら、事業を進めて参ります。



PHOTO

夏の登山教室(八幡平七滝)



PHOTO

姉妹都市交流(ラットランド市とリモート交流)

令和3年度 好地地区まちづくり委員会

- 会長**  
 藤 舘 茂  
1区推薦
- 副会長**  
 立 花 英 一  
17区推薦
- 副会長**  
 菊 池 澄 子  
16区行政区長
- 監 事**  
 大 竹 芳 和  
5区推薦
- 監 事**  
 近 藤 健 一  
17区推薦

令和3年度 各部会の主な事業

- 総務企画部会**
- ★ 地域づくり推進事業
  - ★ 地域内交流推進事業
  - ★ 防災推進事業
  - ★ 活動拠点整備事業

- 保健福祉部会**
- ★ 高齢者福祉推進事業
  - ★ 福祉支援事業
  - ★ 子育て支援事業

- 教育振興部会**
- ★ 青少年育成推進事業
  - ★ 生涯学習推進事業

- 産業振興部会**
- ★ 商工農連携事業
  - ★ 地域活性化事例研修

- 生活環境部会**
- ★ 生活環境事業
  - ★ 地域内環境整備事業
  - ★ 交通安全推進事業
  - ★ 防犯推進事業
  - ★ 環境保全事業

編集後記

第75号

3月に入り忘れられないのが、3月11日に東北地方太平洋沖地震発生による大規模な地震災害が思い出されますが、私の日記によると令和2年に花巻市が新型コロナウイルス感染症対策として各地区の振興センター等の公共施設の休館が実施され、当地区でも状況を鑑み2回開催されていたサロンを3月1回だけ開催し、それから6月まで開催を見合わせるチラシを3月15日、全世帯に配布して頂いたと記されていました。今年も2年前のほぼ同時期に、3月開催予定して

いたサロン見合わせるチラシを全世帯に配布して頂いたのは3月1日です。

この頃(令和2年3月)からまちづくり委員会の事業が予定通り進まなくなり、もどかしい時期を経て、ようやく昨年11月から各部会で感染症対策を図り、ほぼ計画が実施できるようになりました。

予測不能な感染症で再度悩まされておりますが、関係機関、関係者が最善を尽くすとともに自分自身が、出来る感染症対策を確実に実施し、令和4年度は計画に沿った事業に取り組める環境になるように切に願う次第です。  
(総務企画部会編集委員)